

オーストラリアの税金

オーストラリアの
税金が分かる!



手段や金額の違いはあっても、オーストラリアで暮らす人全員が税金を国や州・地域、地方自治体に払っています。では、税金は何に使われて、どのような種類があるのでしょうか。

税金とは

国民一人ひとりが政府に払い、道路や鉄道、社会保障、教育、健康など、私たちの生活に欠かせない多くのことに使われているお金。オーストラリアでは、連邦、州・地域、そして自治体の政府や役所がそれぞれ税金を徴収し、異なる分野に活用している。例えば、連邦政府は貿易や通信、防衛や移民などの分野に、州・地域政府は水や電気、教育、交通、警察などに、そして自治体の役所はごみ収集や図書館、公園の整備などに税金を使っている。税金の徴収は、オーストラリア国税庁 (Australian Taxation Office : ATO) が行い、納税者に対して税制度や税金の役割の理解促進、税制度の社会への公平性や効率性の管理、税金の払い戻しや手当の支給などを行っている。ATO 長官であるマイケル・ダセンゾ氏は、「ATO は国民の生活に対して、税金の社会への有益活用を促進することによって国民の福利に対して間接的に、また税法が公平に適用され、それを実施する上での代価を最小限に抑えるように働きかけることで直接的に貢献しています」と述べている。

個人の税金の種類

個人の税金にはたくさんの種類があります。ここでは、その中から代表するものを紹介します。

所得税

Income Tax

メディケア税

Medicare Levy

GST

Goods and Services Tax

物品税

Excise Duty

スーパーアニュエーションに対する課税

Superannuation Contributions Tax

ワイン平衡税

Wine Equalisation Tax

印紙税

Stamp Duty

など

Information Courtesy of Australian Taxation Office